

広報 10月1日発行

ながはま

2012

10

平成24年

No.081



相撲大会で強まる 地域の絆

9月9日(日)、「金太郎が幼少期を過ごした」との言い伝えが残る西黒田地区で、子どもを対象にした相撲大会が開かれ、豆力士達が元気いっぱい熱戦を繰り広げました。

中には、取り組み前から泣き出してしまう子もいましたが、友達や保護者の声援を受けながら、懸命に相撲をとっていました。

土俵などの大会前の準備は、地域住民同士の交流にも役立っているということで、実行委員会では「大人から子どもまで、すべての年代が親睦を深める事ができる自慢の地域行事です。子ども達には金太郎のように力強く優しい大人に育って欲しい」と話していました。